

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成19年10月11日(2007.10.11)

【公開番号】特開2006-133932(P2006-133932A)

【公開日】平成18年5月25日(2006.5.25)

【年通号数】公開・登録公報2006-020

【出願番号】特願2004-320169(P2004-320169)

【国際特許分類】

G 06 F 3/041 (2006.01)

G 06 F 3/033 (2006.01)

【F I】

G 06 F 3/03 3 4 5 D

G 06 F 3/033 3 1 0 Y

【手続補正書】

【提出日】平成19年8月27日(2007.8.27)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

X方向とY方向とのうちの少なくとも1つの方向の皮膚の張力または皮膚表面の凹凸の状態を検出する皮膚張力検出手段と、

前記皮膚張力検出手段が検出している部位とは異なる人体部位に指示器が接触することにより変化する皮膚の状態に基づいて、情報を算出して処理を行う処理手段と、  
を有することを特徴とする入力装置。

【請求項2】

前記皮膚張力検出手段は、

皮膚の伸縮に伴い変形する弾性層と、

前記弾性層の変形を検出する歪み検出素子と、

を有することを特徴とする請求項1に記載の入力装置。

【請求項3】

前記皮膚張力検出手段は、

超音波を発射する超音波発射手段と、

前記超音波を受信する超音波受信手段と、

前記超音波を反響させるための反響枠と、

を有することを特徴とする請求項1または2に記載の入力装置。

【請求項4】

前記皮膚張力検出手段は、

皮膚を振動させるための音波発射手段と、

皮膚の振動を検出するための振動検出手段と、

を有することを特徴とする請求項1から3のいずれか1つに記載の入力装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】変更

【補正の内容】

## 【0013】

X方向とY方向とのうちの少なくとも1つの方向の皮膚の張力または皮膚表面の凹凸の状態を検出する皮膚張力検出手段と、皮膚張力検出手段が検出している部位とは異なる人  
体部位に指示器が接触することにより変化する皮膚の状態に基づいて、情報を算出して処  
理を行う処理手段と、を有することを特徴とする。

## 【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】削除

【補正の内容】